高齢者医療費負担軽減を求めて

細野龍子（日本共産党）

問 老人高額医療費払い戻しは一度申請すれば二度目以降必要ないなど、できるだけ簡単にすべきだがどうか。

高山助役 限度額を超える医療費の還付請求の簡素化を図るよう検討すべきだと、今、東京都を含めて、市町村会会長として市長の方からも国の方に強く求めています。

問 老人医療費についても減免や貸し付けの制度を設けるべきだがどうか。

高山助役 老人保健制度は国の制度です。市独自での医療費の減免ということは考えていません。

問 請願が採択された小学校一、二年生の三〇人学級は市独自実施も可能になった。実現すべきだがどうか。

教育長 学級編制の標準は義務教育制度の根幹に関わることなので、市が独自で行う性格のものではないと考えています。少なくとも都道府県レベルで実施すべき性格のもので、今後とも東京都教育委員会に対して要望をしていきたいと思っています。

問 小・中学校の快適トイレ整備の今後の計画は。

教育長 トイレの総合的な整備については、大規模工事とか、統廃合による工事、規模の大きな工事に関連して整備を進めています。

防災と校舎、公営墓地の建設を

古宮杜司男（市民派クラブ）

問 防災と校舎について、地震の時に授業中であったら、児童生徒の避難のため一階は校庭側の窓は腰窓ではなく全開窓とし、二階以上は滑り台方式を考えるべきだ。

教育長 地震の関係で、まず一階教室の避難方法ですが、各学校の建物の一階部分については、大部分が教室から直接出られるようになっています。入り口が設置されていない場合も廊下を利用して避難路が確保されています。二、三階からの避難については、消防法などの関係法令に適合した施設として避難路の確保はされていますが、日ごろから児童生徒への指導の中で避難誘導などの訓練を重ねることによって災害時のパニックを予防し、安全かつ適正な避難ができると思っています。

問 公営墓地の建設が必要である。町田市も公営墓地を作るべきであり、それは薬師池、蓮田、ぼたん園等のあるダリア園の頂上がよい。ここは乾燥地で地下納骨堂に適し、墓地の暗いイメージを払拭するのに最適地である。

市長 霊園問題についてはこれからの課題ということで、なお一層将来の検討課題とさせていただきたいと思います。

市民病院に女性専門外来を！

宮坂けい子（公明党）

問 市民病院に、女性医師による女性専門外来の早期開設を強く求める。

市民病院総院長 女性が診療にかかりやすい雰囲気をつくる状況にすることと同時に、母性医療から発して、思春期、更年期障がい、さらには、老人の骨粗鬆症までいくような、そういう女性しかない身体のメカニズムに適応した、また、精神的な問題に対して答えられるような先生方をそろえるということが大事なことだと、そのつもりで計画をして、ぜひ一日も早く実現していきたいと思います。

問 さまざまな不法行為から市民生活の安心・安全を守る条例の制定を要望する。

市長 （仮称）市民の生活安全に関する条例というか、そういうものを具体的に検討するように指示をし、今、庁内でいろいろな検討が始まっていますから、できるだけ早い機会にそれをまとめて議会にも提案をしていきたい。

問 市の組織に防犯に関する部署が見当たらないので、設置を求める。

市長 市民の総合した安全の確保をつかさどる部署がないわけで、場合によっては新設をするということも含めて今、検討の課題にいれています。

行政サービス・事業計画あり方

熊澤礼里（まちだ新世紀）

問 駅前連絡所が一一月二日から五日まで四連休であった。本年度は四連休が三回あったが、これが本当に市民のための行政サービスか。

市長 市民の方としては、せっかくある駅前連絡所が使えないと不便です。不便をかけない方法を検討したいと思っていますので、しばらく時間をいただきたい。

問 なぜ市役所の点字ブロック上にマットがあるのか。

市長 早速十分検討するように伝えたいと思います。

問 原町田市営第二駐車場は、長年赤字を出しているが、事業を始める際、調査・計画をどのように行ったか。

牧田助役 平成六年に二〇年間の契約がされています。その中で当初の計画では、第一駐車場で二五〇台の駐車容量を持つ駐車場、第二駐車場で三五二台、合わせて六〇二台ということで、一日二・五回転をされるということから、黒字経営になれるという計画だったわけです。

問 市営第二駐車場は売り上げ三千八百万円のところ、公社管理委託料七千二百万というのはどういうことか。

牧田助役 この駐車場については、抜本的な対応を考えなければいけないと理解しているところです。

鶴川駅南口の暫定的開発を望む

斉藤　稔（まちだ新世紀）

問 鶴川駅南口の開発については、北側区画整理事業が順調に進んでおらず、隣接する川崎市からの協力が、財政悪化によって得られないため、本格的な開発は当分の間、取りかかれる状況にはない。そこで、小田急及び地権者の協力をいただきながら、暫定的に開発をして、南側中央口の開設等ができないか。

市長 南口については、北口を整理をして、その展望が出てきた段階で、権利者もいるわけで、具体的な協議を進めていきたいと考えています。町田市と川崎市の間で道路連絡調整会議を組織しており、一一月に第一回の会議を開いています。

牧田助役 小田急電鉄との打ち合わせは、順調に進められています。本格的な街づくりをしなくとも、まずはこの川崎市の岡上地区との連携が必要だと思っています。

問 環境問題対策普及のため、市民が参加して、町田市独自の環境管理システムを作り、学校教育に使えないか。

教育長 学校で取り組む行動を抽出し、児童生徒、教職員、保護者が主体的、計画的に環境に配慮した行動に取り組めるよう、学校版環境ISOについて検討していきたいと考えています。

小田急線鶴川駅臨時改札口

環境負荷低減の研究と取組みは

今村路加（社民ネット）

問 環境負荷低減のため、市の新しい取り組みは。

牧田助役 地球環境保全に向けたエネルギー関連施設や生物多様性に着目した谷戸山保全といった新たな環境施策を研究推進するための庁内横断組織、いわゆるプロジェクトチームを設置しました。

問 バイオマストイレ、燃料電池など、新しい技術の研究を行うべきと考えますが、環境に優しい施策を導入する時に値段が高くなることがあるので、差額を負担し、導入しやすくする環境負荷低減基金の設置が必要では。

牧田助役 環境という形を総合して所管をする組織なども、早い時期に考えていきたいと思っています。

問 青少年の性について、一〇代の性感染症が一〇年前と比べ六倍になり、緊急な取り組みが必要と考えますが、市の対応は。

高山助役 市としては、例えば昨年度を見ますと、成瀬センター、ひなた村、堺市民センター、鶴川市民センターで男の子の性、女の子の性、思春期保健講座という形で各地域に出て展開も行っており、できるだけ健康講座の中で、子どもの問題、あるいはいろいろなコースで対応しているというのが実態です。

保育園入園待機児童の解消を

井上正行（市民派クラブ）

問 保育園入園待機児童数は、六二七人と大幅に増加しているが、原因は何か。

市長 我々の予想以上に、今、マンションの建設が進んでいる。その中には結構若い人が入ってこられるわけで、これは町田市としても歓迎するわけですが、それに対しての対応をあわせて考えていかなければいけないわけです。

問 待機児童解消に向けた対策はどのようになっているか。人口増加の著しい小山地区に保育園の新設を。

市長 来年は思い切って四園を開設したいということで、現在、高ヶ坂の都営住宅の中と、南つくし野、小川、多摩境地区、この方面を考えているところです。

問 第三者の虚偽の届け出による被害が頻発している。このようなことを防止するため戸籍や住民票の異動、交付等の受付時に来庁者の厳格な確認や本人への事後通知が必要であると考えるが。

市長 私も、いち早く、こういう時代ですから、どういうアクシデントがあるかわからないので、間違いがないように本人確認の方法を十分検討するように指示しているところです。目下、市民部で、これの具体的な取り組みについて検討している段階です。